
がん看護学特論Ⅱ：臨床腫瘍学

Oncology Nursing

山 田 忍 教授

園 木 孝 志 教授

岡 本 光 代 准教授

前 北 隆 雄 准教授

井 田 良 幸 講師

宮 坂 美和子 助教

上 松 右 二 非常勤講師

上 田 弘 樹 非常勤講師

1 年次前期・がん看護専門看護師コース必修**2 単位・30 時間**

【概要・目標】

がん看護の基礎となる臨床腫瘍学を修得し、看護のエビデンスを探究する。特に発がんのプロセスに着目し、個々の臓器レベルでの病態と、それに基づく様々ながん治療の概要を理解したうえで、適切な看護アセスメントを行い、病態生理を基盤とした専門性の高いがん看護を実践する能力を修得する。

【授業内容・スケジュール】**I. 発がんのプロセスと看護アセスメント**

- ① がんの発生段階(イニシエーション、プロモーション、プログレッション) (講義：上田)
- ② がん組織の血管新生、発がんに関係する生活習慣や環境要因 (講義：上田)
- ③ がん組織、Stage および ADL を考慮した治療の選択 (講義：上田)
- ④ がんゲノム医療(パネル検査・エキスパートパネルでの治療の検討など)、個別医療に繋げるプロセス (講義：上田)
- ⑤ 学生は生活習慣、環境要因と発がんに関しての研究についてプレゼンテーションし、ディスカッションを行う(演習：山田)。
- ⑥ 学生はこれまで関わったがん患者の症例を基に、患者の症状の出現と病態との関係、医師が選択した治療内容をアセスメントしプレゼンテーションを行う。症状緩和と再発予防に関する行動を促すケアについてディスカッションする(演習：山田)。
- ⑦ がんゲノム医療における看護の役割に関しての文献を事前に提示し、がん遺伝子検査、治療の選択、家族への関わりにおいて、多職種が連携し患者への支援を行う必要性についてまとめ、プレゼンテーション、ディスカッションを行う(演習：山田)。

II. AYA 世代のがんの特徴と患者の QOL を重視した看護

- ⑧ 小児で発症することが多いがん種と成人で発症することが多いがん種/思春期から成人への過渡期に発症するという心身への影響 (講義：山田・岡本)。
- ⑨ 希少がんによる情報の不足、就学や就労、恋愛、結婚、妊娠出産や
AYA 世代のがん患者特有のニーズをふまえた看護について、学生がプレゼンテーションし、ディスカッションを行う(演習：山田・岡本)。

III. 看護アセスメントに活かす疾患別病態・診断・治療

- ⑩ 大腸がんの病態と診断・治療の講義および身体的・精神的・社会的側面を踏まえたアセスメントと看護上の留意点についてディスカッションする (講義・演習：前北・山田)。
- ⑪ 肝がんの病態と診断・治療の講義および身体的・精神的・社会的側面を踏まえたアセスメントと看護上の留意点についてディスカッションする (講義・演習：井田・山田)。

- ⑫ 乳がんの病態と診断・治療の講義および身体的・精神的・社会的側面を踏まえたアセスメントと看護上の留意点についてディスカッションする（講義・演習：宮坂・山田）。
- ⑬ 肺がんの病態と診断・治療の講義および身体的・精神的・社会的側面を踏まえたアセスメントと看護上の留意点についてディスカッションする（講義・演習：宮坂・山田）。
- ⑭ 造血器がんの病態と診断・治療の講義および身体的・精神的・社会的側面を踏まえたアセスメントと看護上の留意点についてディスカッションする（講義・演習：園木・山田）。
- ⑮ 脳腫瘍の病態と診断・治療講義および身体的・精神的・社会的側面を踏まえたアセスメントと看護上の留意点についてディスカッションする（講義・演習：上松・山田）。

【評価】

下記の事項について、総合的に判断して評価する。

1. がんプロ e-learning 事前学習、指定文献の読み込みとその理解状況（プレゼンテーションおよび意見交換）30%
2. 出席状況と授業への取り組み 40%
3. 課題レポート：症例を1事例上げ，修得したがんの病態生理と診断・治療を基にアセスメントし，身体的・精神的・社会的側面を踏まえた看護について考察する 30%

【テキスト】

配付資料

講義の内容は，授業の際に配布する。

事前学習が必要時(症例)には，授業の中で提示する。

【推薦参考図書】

日本臨床腫瘍学会：新臨床腫瘍学，南江堂，2017.

中込さと子：遺伝看護学，羊土社，2019.

有森直子：遺伝/ゲノム看護，医歯薬出版株式会社，2018.

関根郁夫：がんゲノム医療結果報告書の読み方と患者への伝え方 エキスパートパネルの実際，医学と看護者，2020.

【視聴覚教材】

がんプロ e-learning

【文献学習資料】

事前学習が必要時に授業の中で文献を配布する(がんゲノム医療における看護の役割に関する文献)。

各自図書館等で検索し、課題レポート作成の参考にする。提出時，その際参考にした資料名を記述する。

【その他】

連絡先：yamada-s@wakayama-med.ac.jp